

環境外交

気候変動交渉とグローバルガバナンス

四六変・並製・292頁 定価：本体2,800円(税別) ISBN978-4-8826-3308-7 C3332

気候変動交渉からみる国際交渉の力学

外交力、資金力、技術力など様々な手段を駆使して、駆け引きが繰り広げられる「気候変動交渉」。近年の気候変動交渉を臨場感を持って紹介し、外交戦略の実態に迫る。国際社会の構造変化と、あるべき将来の国際枠組みの全体像について考察した一冊。



【目次】

第1章 気候変動交渉20年:コペンハーゲンへの道

はじめに

- 1 気候変動交渉20年の歴史
- 2 国際政治の縮図としての気候変動交渉

コラム① 横文字略語の飛び交う気候変動交渉

第2章 カンクンCOP16:京都議定書「延長」問題を巡る攻防

はじめに

- 1 主要各国にとってのコペンハーゲンCOP15の意味
- 2 年前半(1月~5月)の動き
- 3 年後半(6月~11月)の動き
- 4 COP16本番
- 5 COP16の結果(カンクン合意)
- 6 所感

コラム② COPの開催地について

第3章 「3/11」の衝撃とダーバンCOP17:「Down but not out」

はじめに

- 1 「3/11」前
- 2 「3/11」後
- 3 夏以降本番直前まで(9月~11月)
- 4 COP17本番
- 5 COP17の結果(ダーバン合意)
- 6 所感

補論:ドーハCOP18についての若干の考察と所感

コラム③ 各国気候変動交渉官の横顔

第4章 気候変動交渉の舞台裏

はじめに

- 1 気候変動交渉の1年
- 2 Who's Who in climate change negotiation:気候変動交渉のプレーヤー達

コラム④ COPの風物詩?「化石賞」イベント

第5章 「悪魔は細部に宿る」:気候変動交渉の修辞学

はじめに

- 1 COP15:コペンハーゲン合意ハイライト
- 2 COP16:カンクン合意ハイライト
- 3 COP17:ダーバン合意ハイライト

コラム⑤ 気候変動交渉シミュレーション

第6章 ポスト「リオ・京都体制」を目指して

はじめに

- 1 外交の主要課題としての気候変動問題
- 2 「リオ・京都体制」の限界:主要国の問題と日本の課題
- 3 気候変動問題対処のためのグローバル・ガバナンス:3つの視点
- 4 気候変動対策における様々なアプローチ
- 5 まとめ

コラム⑥ 東アジア低炭素成長パートナーシップ

第7章 ポスト「リオ・京都体制」と日本

はじめに

- 1 ポスト「リオ・京都体制」のイメージ
- 2 日本の提案:「世界低炭素成長ビジョン」
- 3 日本の取り組み(1):東アジア低炭素成長パートナーシップ
- 4 日本の取り組み(2):アフリカにおける低炭素成長・気候変動に強靱な開発戦略
- 5 日本の取り組み(3):2国間オフセット・クレジット制度
- 6 日本の取り組み(4):切れ目ない排出削減と途上国支援

コラム⑦ 2国間オフセット・クレジット制度はモンゴルからスタート

—緊急事態時の公共の安全と人権調和—

◆緊急事態と人権—テロを例に—◆

初川 満 著 A5変・上製・336頁 本体10,000円(税別)

◆テロリズムの法的規制◆

A5変・上製・296頁 本体7,800円(税別)

初川 満 編著 真山 全・益田哲夫・武田雅之 著

◆国際テロリズム入門◆

46変・並製・200頁 本体2,000円(税別)

初川 満 編著 益田哲夫・真山 全・門司健次郎・芹田健太郎 著